

黒田啓太^{a,b,*}, 小澤潤^c: 四国初記録のヒロハマツナ (ヒユ科)

^a 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター

^b 愛媛大学農学部環境昆虫学研究室

^c 愛媛植物研究会

Keita KURODA^{a,b,*} and Jun OZAWA^c: A New Record of *Suaeda malacosperma* (*Amaranthaceae*) from Shikoku Island, Japan

^aBiodiversity Center, Ehime Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science, 8-234, Sanban-cho, Matsuyama, Ehime, 790-0003 JAPAN;

^bLaboratory of Environmental Entomology, Faculty of Agriculture, Ehime University, 3-5-7, Tarumi, Matsuyama, Ehime, 790-8566 JAPAN;

^c1-13-43, Kokubu, Imabari, Ehime, 799-1521, JAPAN

*Corresponding author: diptera.kuroda@gmail.com

(Accepted on January 5, 2021)

Summary: A threatened halophyte (Vulnerable (VU) category on the Japanese Red List 2020 of the Ministry of the Environment), *Suaeda malacosperma* H.Hara, is recorded from Shikoku Island for the first time.

ヒロハマツナ *Suaeda malacosperma* H.Hara (ヒユ科) は河口付近や内湾の塩性湿地に生育する (中西 2020), 塩生植物の一種で, 日本国内では本州 (愛知, 兵庫, 岡山, 広島, 山口) と九州 (福岡, 大分, 佐賀, 長崎, 熊本, 鹿児島) からの記録がある (中西 2001, 2020, 澤田ら 2007). また, 国外では韓国からも知られている (Shim et al. 2001). 本種は全国的に希少な植物で, 環境省レッドデータでは絶滅危惧 II 類 (VU) とされている (環境省 2020). また, 記録のある各県でも岡山県以外ではレッドデータブックに掲載されている (NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所 2020, 澤田ら 2007). 本論文ではこれまで分布が知られていなかった四国, 愛媛県今治市 (Fig. 1) において, 本種を発見したので報告する.

愛媛県今治市における本種の生育状況は品部川の河口部に本種のみを群生が隣接した狭い範囲にいくつかあり, 同所的にシバナ *Triglochin asiatica* (Kitag.) Á.Löve & D.Löve やハマサジ *Limonium tetragonum* (Thunb.) Bullock がまばらに生育して

いた. 最も大きな群生は流入する河川の岸辺にできた, 泥交じりの砂地におおよそ 50×10 m の範囲にあった (Fig. 2A).

ヒロハマツナは植物体の高さが 15–30 cm (Fig. 2B); 葉は広線形または狭長楕円形, 断面は扁平, 長さ約 3.5 cm, 光沢がなく, 灰白色; 花被に包まれた果実は星形 (Fig. 2C) で, 大きさは 2.0–2.5 mm; 秋季には葉が淡赤色に紅葉するといった特徴をもつ (中西 2020).

山本 (1978) の愛媛県産の植物目録に本種は掲載されていない. また, 著者の一人, 小澤は鈍川収蔵庫 (今治市玉川町: 旧鈍川地域住民学習センター) に収蔵されている渡辺憲一コレクション (今治市を中心とした地域で 1940 年代から 80 年代にかけて, 渡辺氏によって収集された約 2 万点の標本群) を確認したが, そこからもヒロハマツナは発見されなかった. このことから, 本種は比較的最近になって, 四国に侵入した可能性がある. しかし, 本個体群の由来は不明であり, 今後の研究が待たれる.

本研究の証拠標本 (愛媛県今治市大西町九王品部川の河口, BCEJ-VP00001–00002; MBK0315338) は愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター (Biodiversity Center, Ehime, Japan: BCEJ) と高知県立牧野植物園 (MBK) に保管される.

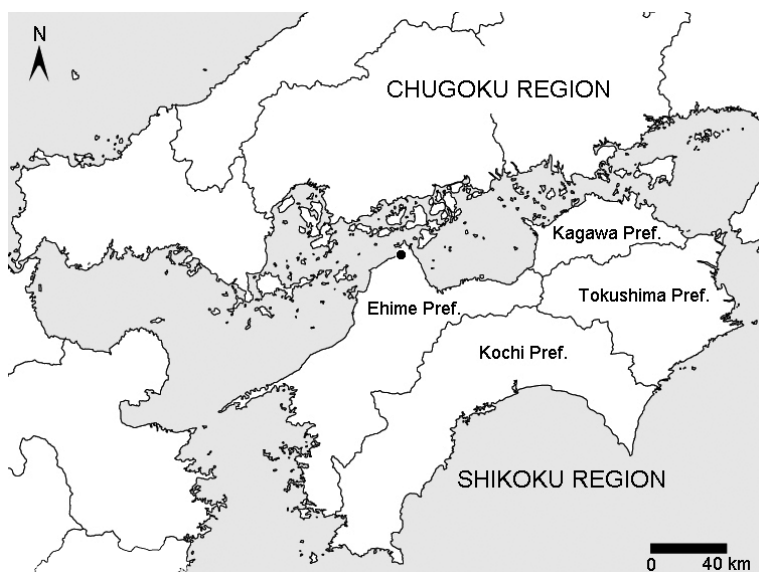


Fig. 1. Closed circle shows the location of Imabari City (Ehime Prefecture) where *Suaeda malacosperma* H.Hara is newly confirmed in this study (map from Geospatial Information Authority of Japan).

***Suaeda malacosperma* H.Hara in J. Jap. Bot. 18: 27 (1942).**

Voucher specimens: **JAPAN**. Shikoku. Ehime Pref., Imabari City, Ōnishi-cho-Kuō, Shinabe river (at the river mouth) [34°04'19.5"N, 132°55'31.9"E], 6 Oct. 2020, Keita Kuroda (BCEJ-VP 00001); the same locality, 19 Oct. 2020, Keita Kuroda (BCEJ-VP 00002, MBK0315338); the same locality, 27 Oct. 2020, Keita Kuroda (BCEJ-VP WS001, preserved in 80% ethanol; Fig. 2C).

本稿を作成するにあたり、ヒロハマツナの同定と草稿への適切なコメントをいただいた中西弘樹名誉教授（長崎大学）とその際に仲介の労をとってくださった松井宏光名誉教授（松山東雲短大）、渡辺憲一コレクションの閲覧に際し、お世話いただいた今治市役所文化振興課、現地での調査に協力いただいた藤林弘恭主任研究員（生物多様性センター）と越智秀信氏（株式会社東芝ライテック）、図版の作成について有益なご助言いただいた村上弘主任研究員（生物多様性センター）、並びに証拠標本の収蔵に便宜を図っていただいた高知県立牧野植物園標本室に厚く御礼申し上げる。

摘要

絶滅のおそれのある希少な塩生植物の一種、ヒ

ロハマツナ *Suaeda malacosperma* H.Hara (ヒユ科) を愛媛県今治市で発見した。これは四国からの初めての記録でもある。

References 参考文献

- Association of Wildlife Research and EnVision Conservation Office 2020. [Hiroha-matsuna]. Search System of Japanese Red Data. <http://jpnrdp.com/search.php?mode=map&q=06030211394> [16 Oct. 2020 accessed] (in Japanese). NPO法人野生生物調査協会, NPO 法人 EnVision 環境保全事務所 2020. ヒロハマツナ. 日本のレッドデータ検索システム.
- Ministry of the Environment 2020. Vascular Plants. Red List 2020 <http://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf> [18 Jan. 2021 accessed] (in Japanese). 環境省 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について. 維管束植物 環境省レッドリスト 2020.
- Nakanishi H. 2001. Phytosociological study of a *Suaeda malacosperma* community and distribution of *Suaeda* species in western Kyushu. *Vegetation Science*. **18**: 99–106 (in Japanese with English summary). 中西弘樹 2001. ヒロハマツナ群落の植物社会学的研究および九州西部におけるマツナ属植物の分布. *植生学会誌* **18**: 99–106.
- Nakanishi H. 2020. *Coastal Plants in Japan*. Tombo Publishing Co., Ltd., Osaka (in Japanese). 中西弘樹 2020. フィールド版日本の海岸植物. トンボ出版, 大阪.